



まごころを込めて謙虚に、喜ばれる商品提供を！

時間は有限、どこまで作物に寄り添って生産できるか

研修農場新聞

2面拡大号

(公財) 農林水産振興財団
八王子研修農場
(発行責任者)
農場長 小寺孝治
(無料)

知識と実践を積み重ねよう

この4月から新たな5期生とスタッフが加わり早くも3ヶ月。日増しに暑くなってくる中、みんな頭と体を使いながら新規就農に向けて毎日一生懸命取り組んでいる。

新規就農に向けて、2年目を迎える2年生(4期生)は、各々自分の就農モデルでの実証栽培が始まり、派遣研修や講義にと毎日大忙しだが、皆、生き生きと充実した日々を送っている。

はじめて野菜栽培を経験する1年生(5期生)は、毎日新しい経験を積み重ねている。農作物も日々成長し、管理作業なども変化するため、徐々に応用も必要になる。その間には、見たこともない害虫や病害など、日々発見や気づきの連続だが、それぞれが無我夢中に研修に励んでいる。

この時期、人も熱中症等でダウンすることがあるが、農作物も酷暑や大雨などで体力が消耗して、病害虫に侵されやすくなる。そうした作物の顔色をいち早く気付いてあげることが良品生産に結びつく。そのため日々



1、2年生と指導員

から真夏日も続く時期になるが、とにかく健康管理を第一に、大いに実践経験を積み重ねてほしい。

研修生の今

4月から早くも3ヶ月が経つが、各研修生に、この間の感想などを語ってもらったのでその一部を紹介する。

質問①感想など、②今後自分で力を入れてやるべきこと、③現在の不安や課題等(2年生は末尾に纏める)

2年生(4期生)

磯田さん…①敢えて一般的でない栽培方法に挑戦して、多くのことを学んだ。序盤に手間を掛けたら収量や秀品率が良かったり、逆に、省力的だと思つて行つたら却って手間がかかった。想像以上のことが様々に起こり、実践によって貴重な経験が培われた。

②農業経営を持続できる環境を整えるために行動する。具体的には、より多くの人と繋がり、助け合える関係を築くことや、少ない人数でもしっかりと生産・出荷・販売ができるよう効果的な箇所に投資していくなど。

加藤さん…①作業や収穫のスケジュール等をよく考えないといけないことを改めて感じる。またこの時期に

失敗することは非常に大きな学びになっている。

②圃場や売り先などが徐々に見えてきた中で、効率的に生産から納品まで行つたためには何が必要か?自身がおかれている状況を改めて棚卸して足りない物や事を明確化する。

熊川さん…①アカデミーでは、栽培環境を整えることがいかに収益に結び付くかを実感。計画通りに栽培することが難しく、畝の形状ひとつでも収量や調整に影響したり、発芽したての苗が虫に食べられたり、パイプ建てや防草シート敷きなどの作業時間の読みが甘かったり、気温に合わせてトンネルを開閉する手間等も計算しておらず、失敗も多いが少しずつポイントがつかめてきた。

派遣研修では地域の農家さんからも就農に向けた助言や人との繋がりを作って頂いたり、集客や販売、農業体験など様々なことを学ばせて頂いている。

②栽培技術の習得や就農地域の方々との繋がりを作りながら、就農準備スケジュールに沿って確実にタスクを行っていくこと。

佐藤さん…①一年次とは全く違う緊張感を感じながら充実した学びの日々を送っている。こんなに天気予報が気になった事もなかった。雨予報だけでなく最高気温や最低気温、風の強さなども考えないと対応できないのでとても大変ですが、とても楽しい。

②販路開拓です。どれだけ良いものを栽培しても売りがなければ意味がない。アカデミー在学中にたくさんの販路を開拓して栽培品目をリクエストしてもらえたい。

横山さん…①一人の作業は想像以上に時間がかかる。実感。物を運ぶ、マルチ・トンネルの設置など、何度も経験した作業でも、自分の想像の2倍以上の時間がかかる。就農後を想定し、より早く・正確に作業完了

2年生の不安、課題等

できるような常を考えながら作業を実施していく。②特に収穫・出荷調整の作業スピード向上を意識していく。作業前に作業動線を考えるなど作業効率があがるような工夫をしていきたい。また、栽培においては、出荷調整の時間を短縮するために、出荷調整に時間がかからないよう均一にきれいに育てることを強く意識していきたい。

○希望する農地面積の確保。安定した販路の確保。一人どこまで生産管理できるかという不安。経営資源の確保が予定通りいくか心配。就農地域の農家さんの助言等から営農計画のフ

4～6月の主な出来事

(4月)

- ・3日 理事長ら視察、5日 入講式、8日 小野寺着任
- ・11日 派遣開始、17日 小宮都議ら視察、18日 進行管理
- ・24日 新島生産者ら視察、26日 事業説明会
- ・フードバンク提供 1、3、5、12、19、22、26日

(5月)

- ・1日 農林水産部長ら、2日 練馬区役所視察
- ・10日 ミニ直売、事業報告会、19日 セントラルプラザ打合せ
- ・17日 八王子市議視察、27日 幼稚園サツマ植え協力
- ・フードバンク提供 10、13、20、24、27、29、31日

(6月)

- ・5日 理事会、6日 直売、10日 ミニ直売、13日 本庁打合せ
- ・16日 局長プレゼン、18～20日 アグリセレクトフェア出品
- ・19日 予算等ヒア、21日 評議委員会、27日 瑞穂農地調整
- ・フードバンク提供 7、10、12、14、17、21、24、26、28日

ラッシュアップが必要。就農後に近隣スーパー・直売所等に出荷する際の出荷調整・配送等の時間配分に不安。少量の農産物を自分で配送すると人件費・配送費のほうが高くつくなど、自らの時間をどう配分すべきか、品目・販売先・配送コストなどを考慮して改めて検討したい。等々が挙げられ、就農までにできるだけ解消していきたい。

1年生の今

同様に、この4月に入講した第1期生に感想等を語ってもらったので紹介する。

太田さん…①様々な野菜を知り、実際に現場作業を通じて、何が自分に向いているか、何が苦手なのか、ある程度掴めてきた。特に果菜類の管理は毎日している

ので、次にどうすべきか分かるようになってきた。

②農産物の需給や時期によっての価格などをスーパーや直売所でその都度確認していく。就農希望地を想定し、ある程度その土地での生産販売のイメージをいろいろと検討していきたい。

③春夏野菜は日々の作業の中でイメージできたが、秋冬野菜に関しては全く分からないので、勉強しながら実践経験を積んでいく。

高橋さん…①入講してから野菜の栽培方法など初めての作業ばかりでインプットするのに必死。右手に少々障害があり難しい作業もあるが、指導員の方々・仲間のサポートに助けられている。一つ一つの作業に目的・意味があり、野菜栽培の奥深さを感じた。

②研修1年目は基礎をしっかりと学び、しっかりと習得する。日々の作業内容をこまめに記録することで野菜の栽培方法のベースを確立して、就農後に役立てるようにする。

③希望就農地のほ場環境によって土壌改良等が必要なのか不安、就農後のほ場環境によって希望する野菜が栽培できるか不安。就農後の売り先は共同直売所等を検討しているが、それ以外の売り先の確保等が課題。

丹治さん…①種まきや苗作り、定植では繊細さと速さが求められることを学び、熟練が必要だ。短期間で収穫できる野菜以外にも興味があり、アスパラガスやキノコ、果樹等の生長も見れて嬉しい。1年生の序盤は屋外での研修が多く、屋内での講義が少ない印象。②独立後、畑ですぐに確認できるようにアカデミーでの知識・経験をまとめたハ

ンドブックを二年間の中で作りたい。また独立後にSNSで集客宣伝できるように今から準備を始めたい。

③施肥量や農薬量の計算、農薬名と対象病害虫などはまだまだおぼつかない状況。就農希望エリアでの農地確保に不安。

田中(慎)さん…①講義で野菜の病状を見せられても、何の病害虫が原因で起こるものなのか分かりやすく学ぶことができた。

②先ずは野菜の管理や防除方法等の知識と技術、加えて商品化、販売ノウハウ等を身に着ける。

③夏野菜の栽培管理で時間を費やし過ぎてしまうと出荷のタイミングを逃してしまつので、何時、何をするか優先順位付けを自分で見極められるようにしたい。

田中(圭)さん…①入構してから播種、定植した作物が順次収穫を迎えている。生育途中での見回りや管理作業の頻度で品質や収量が変わることに痛感した。

②まずは、就農にあたって必要な知識と経験を身に付けていく。自分なりの就農モデル(計画)をいろいろと検討していく。

て、持続可能な農業を目指し、日々精進していく。

以上、各研修生から現状や今後の課題等を聴き、改めて一人一人の課題にも向き合い、実のある研修を進めていきたい。

これまでの天候

例年に比べて4月の平均気温は2℃以上、5、6月も1℃近く高く推移した。また、5月と6月は例年に比べて降水量も多かった。

関東甲信での梅雨入りは6月21日頃とされており統計史上2番目に遅く、梅雨明けは7月下旬頃と予想されている。なお、今年も昨年に匹敵する暑さとなる可能性が高いと言われていることから、こまめな水分補給などの暑さ対策をしっかり行っていきたい。

職員の異動

【転入】小野寺 洋史、丸山 哲朗、(固有事務採用)寺門 正和、(アシスタント職採用)武 彩伽、【転出】浅田幸枝、竹内光子、(臨職退職)吉村智成、佐藤 仁

各種SNS情報

研修農場では、研修状況等をエックスやフェイスブック、インスタグラム、ユーチューブで配信しています。



令和6年度 全メンバー

研修農場 スナップ

2024年 4~6月



ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！フォローもよろしくお願いします！

なお、直売情報をいち早くお知らせするためLINE Eでの配信も行っています。友だち登録はトーク検索で「東京農業アカデミー八王子研修農場」を選択又は左下QRコードより可能。



4月以降の収穫物：皆さん真剣に洗浄や選別、荷作りを行い、直売で販売研修を実践